



NPO 法人  
リタイアメント情報センター  
Retirement & Information Center



# Relive Journal



## “ிரைιβ” ஜர்னல் No.33

2019年 秋涼号 (10月20日発行)

### < “ிரைιβ” 憲章 >

- 組織、肩書き、経歴にとらわれない自由な生き方
- 知識、経験、技術を生かして社会に貢献する生き方
- 初心に帰って新しい自分を発見する生き方

私たちNPO法人リタイアメント情報センターはこのような生き方を“ிரைιβ”と呼び、その生き方をサポートします

### <目次>

1. 第13期 期首ご挨拶  
(理事長 竹川 忠徳)  
(副理事長(関西支部長) 阿賀 敏雄)
2. 壮麗な夕陽と満天の星空 ハワイ島、最高！  
(会員 鈴木 信之)
3. 喜寿を振り返って【第二部】  
(会員 伊丹 淳一)
4. 関西支部行事のお知らせ  
(関西支部長 阿賀 敏雄)
5. 東京地区行事のお知らせ  
(事務局)
6. 全日本大会に出場しました  
(会員 鳥居 雄司)
7. MK午後の会  
(麻殖生 健治)
8. 謎の女性 (女性にナンパされた話)  
(木津谷 文吾)
9. 中国の旅の思い出  
(会員 ヤスコWild(杉山 泰子))
10. 関西支部 行事関連写真 & 行事チラシ
11. 事務局からのお知らせ



## 1. 第 13 期 期首ご挨拶

### NPO法人リタイアメント情報センター 理事長 竹川 忠徳



特定非営利活動（NPO）法人リタイアメント情報センターは第 13 期を迎えますが、皆々に於かれましては、心身ともにご健勝で多方面にてご活躍のことと謹んでお慶び申し上げます。また、日頃より弊 NPO に多大なお力添えを賜り、誠に有難うございます。

「人を助けてわが身助かる」という同志が集う居心地の良いコミュニティ、即ち我々は欲求の 5 段階説を唱えたマズロー先生の言を借りれば、世に 3% しか存在しない 6 段階目にある人間性豊かな集団として 12 年間を経ております。これも偏に、顧問、理事、会員諸氏並びに関係諸団体様のお力添えのお陰と重ねてお礼申し上げる次第です。

継続は力。今期も グローカリゼーション（Think globally, act locally.）を掲げ活動してまいりたく存じます。その一環として、キャメロン会、南国暮らしの会など諸団体様を始め、その他多くのグループとも一層の交流を図り、更なるリタイアメント情報の拡充を目指す所存です。

ところで、昨今マスコミ等で「人生 100 年時代」と謳われるようになって参りました。思いまですに、単に 100 年の命を繋ぐのが目的ではつまりません。如何に心身とも健康で、100 歳まで

嬉しく、楽しく過ごすか？その一日一日を大切にしたいものです。

「如何にして人生 100 年を迎えるか」 今期 100 年時代幕開けとして 11 月に、当該テーマの第一人者、国立循環器病研究センター名誉総長・川島康生先生にご講演を賜る運びになっており。待ち遠しいことです。

また今後とも、会員の皆様方が「やりたい事」「やって欲しい事」などのご提案をお持ちであれば、ご遠慮なく事務局にご相談下さい。それが他人のお役に立つものであれば、運用委員会は何事であれバックアップする所存です。

皆様の、今日（ヒトビ）の幸を祈りつつ。

### NPO法人リタイアメント情報センター 関西支部長 阿賀 敏雄



忘己利他を座右の銘として、One for all, all for one の精神で、人生 100 年時代に相応しい催しを心掛けて参ります。

また若い人達の教育環境の充実の為に「学校」と「こども食堂」への寄付を募って行きたく存じます。

一方で、支部運営の刷新にも取り組みます。

皆様の一層のご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。



## 2. 壮麗な夕陽と満天の星空 ハワイ島、最高！

会員 鈴木 信之

### 1. なぜ、いま、ハワイ島なのか？

昨年11月下旬、10数年ぶりの海外旅行を思い立ち台湾に向かいましたが出国手続きを済ませて成田空港内をブラブラしていた時に、ヒルトン・グランド・パケーションズの勧誘につい耳を貸してしまいました。久しぶりの海外旅行ということで気分の昂揚感がそうさせたのかもしれませんが、台湾旅行も素晴らしかったもので、その昂揚感を持続したまま帰国後すぐに、最安価格のランクでしたが、ハワイ島コナの「ワイコロア・ビーチリゾート」にある「キングス・ランド」というアパートメント形式のホテルのタイムシェア・オーナーに契約してしまいました。何より家内が乗り気でした。



左上、キングス・ランド正面入り口から  
 右上、ホテル部屋ベランダから見る夕陽



ホノルルの話であれば、契約するつもりはなかったのですが、自然がいっぱいのハワイ島と聞いて決めました。私たちの場合は隔年で一定期間、ホテル内のランクに応じた部屋（定員4名）をシェアできるというもので、昨年末までに契約を済ませ、代金も支払って早速今年の6月下旬に、7泊9日のタイムシェアを申し込みました。私たち以外のゲストを招くにしても、現地を知っていなければ話にならないと判断して出かけたわけで

す。

その結果は、一言で言って**素晴らしい**ものでした。

私はヒルトンの関係者でもなければ、宣伝マンでもありません。それどころか、着いた翌日に現地説明会という名目で、現在の契約内容を格安でグレードアップできるという米国式の強引な説明にかなりオカンムリ状態だったのですが、その折のギフトがリゾート内で使える100\$の金券であったこと、更にはその後の旅行内容が素晴らしかったこともあり、満足して帰国致しました。次回は、加入時のボーナスでもらったポイントを使って来年行こう、2021年は通常のポイントを利用して行ける、ということで3年連続で行こうなどと夢を膨らめています。まあ、身体が丈夫なうちに、たくさん楽しみたいですからね。

キングス・ランドの部屋は、それほど広くはありませんでしたが、1ベッドルームに広めのLDK、シャワールーム兼トイレ兼洗面所は、我が家から見れば巨大でした。家内が最も気に入ったのはキッチンでした。ありとあらゆる最新式のキッチン用品が揃い、食洗器の電気代を気にすることなく、家内は楽しそうに利用しまくってありました。ベッドルームはキングサイズのダブルベッドでしたが、あと二人が泊まったときは、リビングルームのソファベッドが使えるようです。

脱水乾燥洗濯機もあって、実に快適なリゾートライフが過ごせるようになっていました。冷蔵庫も一体どれだけ入れるのだというくらい、業務用に近い大きいものでした。

### 2. ハワイ島の観光



キラウエア溶岩台地に立つ鈴木夫妻

ハワイ島と言えば誰もが、キラウエア火山の爆発と溶岩を連想するでしょうが、ハワイ島はそれだけではありませんでした。この島は「BIG





Island」というほどハワイ諸島の中でも最大の島で、豊かな自然があちこちにありました。あまりに広いので、レンタカーでの観光を勧められますが、私たちはもう3年以上運転していないこともあり、ドライバー兼ガイドのついたオプションツアーを2回利用して島内を概ね巡りました。最初のツアーは、私たちともう一組だけ、二度目のツアーに至っては私たちだけということで、実にらくちんな観光を楽しみました。

キラウエア火山の溶岩台地は、聞きしに勝る壮大さでしたが、それ以外にもワイピオ溪谷やアカ力の滝などにかくでっかい景観があちこちで見られました。



ワイピオ溪谷



アカ力の滝

コーヒー園では生まれて初めてコーヒーのなっている様子を見、その木陰で休む小さなカメレオンも観ることができました。オプションツアーの最中にあちこちで見られる、ハワイ固有の植物や花には魅了されるものがたくさんありました。

ツアーの途中で食べた地元名物の「マラサダ」「ロコモコ」「サイミン」「ボキ」などもそれぞれ美味でした。

ただ、それ以上に感動したのは、何とんでも夜になっての帰り道、マウナケア山の中腹で見た、満天の星空です。4200 m ほどの頂上まで登るツアーもあるのですが、私たちは初回ということもあり、2400 m ほどの中腹を走る自動車道の脇から夜空を見上げました。天の川をあんなにはっきり視認できたのは、生まれて初めてだと思い

ます。また、北極星と南十字星を同じ夜空で視認できるなんて、贅沢な感動と幸福感が溢れ、思わず涙しそうでした。家内も同様の気持ちだったようです。「生きていてよかった！」という言葉を実感できる瞬間でした。



満天の星空の下で

プラネタリウムで見た筈の星空の、数十倍いや、数百倍の圧倒的な迫力で夜空を見渡すことができました。

### 3. ハワイの物価

ハワイもやっぱりアメリカの一部。物価はそれなりに高いようです。

一番高い、と実感したのは、航空運賃です。昨年11月に台湾へ旅行した時は、成田⇒高雄、台北（桃園）⇒成田だったのですが、同じエコノミークラスで約3倍の料金、一人10万円はどうしても超えるようです。とはいえ、現在はコナまでの直行便があるため、以前より時間的に大幅に短縮されています。ホノルルに用のない方は、直行便利用がお勧めです。荷物のトラブルもないし、田舎の空港っぽいコナ空港は、それなりに楽しい空港です。ただ、今は米国入国に際してESTAというビザ的なものを取得する必要があるのでお忘れなく。

島内の交通はレンタカー利用者が多いようです。私たちのようにオプションツアー以外はワイコロア・ビーチリゾートの外に出ないものにとっては、敷地内を走る循環バスや、だっ広いヒルトン・ワイコロア・ヴィレッジ内を巡る船やモノレールの無料の交通機関が大いに役立ちました。



ビーチリゾートの外に出るときはタクシー代が結構高いらしいので、Uberを使ったり、地元のタクシードライバーと仲良くなって有効活用したりする方が多いようです。

通常の食料や日用品はビーチリゾート内にあるスーパーマーケットで概ね揃います。値段は日本ではスーパーの特売狙いの私たちには少し高く感じましたが、ますますです。バナナなど地元産はやはり安い。ただ、期待したハワイ産の納豆や豆腐は、そこにはなく、ツアーで出た途中のスーパーで購入しました。なかなか美味しかったです。

日本からは事前のアドバイスもあって、お米やインスタント味噌汁、レトルトカレー、醤油やマヨネーズの調味料、梅干しなどを持って行ったのですが、大いに役立ちました。ハワイのビールは安くて美味しく、軽いので毎晩水代わりに飲みました。

日本にチェーンのある店は、日本とあまり変わらない価格のようです。コナ到着後最初の食事は、スーパーに買い出しに行った足でマーケット内のフードコートのサブウェイでサンドイッチを食べたのですが、日本で食べるより、若干大きくて美味しく感じました、値段は日本並でした。

高いものはプールサイドで食べるハンバーガーセットです。チップも含めると2,000円位になります。やはりアメリカンビーフは少し硬く、フライドポテトはこれまた硬めに揚げてあり、半分くらい食べたところで顎が外れそうなほど痛くなりました。でも味は悪くありません。



左から、顎が痛くなったハンバーガー、  
ハワイ本場のロコモコ  
コナコーヒーの木

ハワイ島で最も高かったものは、あの有名なコナコーヒーです。お土産などのつもりもあってたくさん買い込んできたのですが、帰国後計算してみると、通常のコーヒー豆や粉に比べて地元価格でも3~5倍の価格のようです。親しい喫茶店のマスターに聞いたら、世界一高価なコーヒーがコナコーヒーだそうです。道理で、国内ではどの喫茶店でもコナコーヒーは置いていない筈です。どうやらコーヒー産業は品質の問題以上に、極めて人件費のかかる産業で、アメリカで採れるコーヒーだから当然なのだそうです。それを知ってから、現地では遠慮せずにガブガブ飲んできたコナコーヒーを、落ち着いて日本で飲んでみると、やはり最高に美味しいです。

#### 4. ハワイ島のリゾートライフ

ハワイ島と言えば、やはりゴルフのようです。特にキングス・ランドはまわりがゴルフコースに囲まれており、宿泊客は名門コースでも安くできるのだそうです。ご夫婦揃って一日おきにゴルフすると話す方が、たくさんおられました。特に午後からは5,000円程度でできるよう。私たちは10数年前にゴルフをやめているのですが、次回行ったときは楽しんでやってみようかな、と思っています。

キングス・ランドのプールも、ヒルトン・ワイコロア・ヴィレッジのプールも実に楽しい作りになっていて、大人も子供も存分に楽しめます。6月はアメリカなどは夏休みに入っていて、家族連れがたくさん来ていました。日本なら沖縄に遊びに来た感覚でしょうか。ビーチよりも安全なプールで遊ぶ人の方が多いようでした。夜は、ホテルの隣のバーベキューコーナーで家族で楽しんでいました。



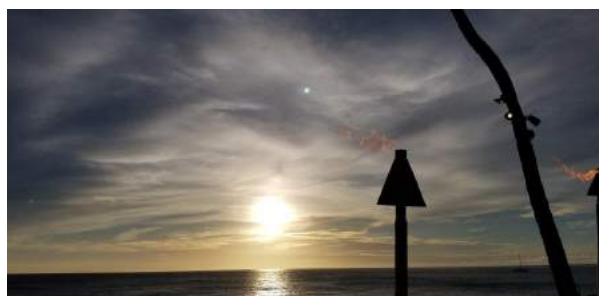
ホテル  
プールの  
スライダー  
で遊ぶ鈴木会員





天気に恵まれて、7泊すべてが晴天だった掉尾は、このビーチリゾートで、というよりハワイ島で随一のレストランと言われる「カムエラ・プロヴィジョン・カンパニー」というレストランのテラス席を予め予約しておいて、夕陽と食事を楽しみました。

このサンセットは抜群だよ、と事前に聞いてはいたのですが、実際に見ると、筆舌に尽くしがたいとはこのこと、と思えるほど雄大で壮麗な、儀式のようなサンセットでした。私も、ワイキキの洋上から見た夕陽、沖縄で見た夕陽など、いくつか思い出に残る光景はありましたが、この情景にはとにかく圧倒されて、息をのむ思いでした。



**壮麗なサンセット**

マウナケアで見た満天の星空と、今ここで見る豪華な夕陽は、次回も必ず見たいと思う必見の二大スペクタクルでした。

ところでこのレストランの料理も最高でした。「シーフードタワー」と呼ばれる蒸したシーフード類はまさしく日本人好み、一緒に勧めてくれたフィレステーキも素晴らしかったです。でもそれ以上にステキだったのは、サーブしてくれた老紳士の接客態度。私たちの年齢も見ながら、このメニューは如何？とさりげなく勧めてくれたようで、ステーキも彼が取り分けるから一人前で良いでしょう、と言ってくれました。適量の食事を、私たちが堪能できたのは言うまでもありません。適量にしてくれたおかげで料金も私が想定していたより若干安い感じで、とても満足しました。お蔭でチップを少しはずんでしまいましたけどね。

次回以降もハワイ島の旅の締めはこのレストランで、と決めた次第です。



**シーフードタワーとアロハを着て寛ぐ鈴木会員**

ところで、この最終日、レストランには正装として、現地の素敵なお店で購入したアロハシャツを着ていきました。一説によると、アロハシャツは日本からの移民があまりに暑いので、自分たちの浴衣をシャツにして着たのが始まり、というそうです。だからアロハの柄は大きな花柄だったり、地模様が緋のようになっていたりするのが正式らしいです。そんな1枚を購入して、レストランに着ていきましたが、さて日本ではどこで着ましようか？真夏の歌舞伎見物などに最適かな。

(了)



**鈴木夫妻、コナ空港到着時のスナップ**



**キングス・ランド近くのアナエホーマル・ベイ**



### 3. 喜寿を振り返って 【第二部】

会員 伊丹 淳一

#### 【第二部】

中学校は豊中市立第4中学校で、毎日自転車通学をしていました。この中学校でリタイアメント情報センター関西支部長の阿賀敏雄さんと同級生でしたが、この3年間も勉強らしい勉強をした記憶が無く、軟式テニス部に入って遊んでばかりいたものですから、中間考査や期末試験等では見るも無残な点数が付いていた記憶があります。いよいよ高校受験が近づいて、「少しは勉強をしておかないと、行ける学校が無くなるよ」と母親から言われ、少しその気になった時には既に遅く何とか今の大阪府立渋谷高等学校に入学。



左は、  
高等学校の  
修学旅行時の  
伊丹 淳一 氏

ここでは入学早々数学（幾何）の時間に、受講態度が悪いということで数学・幾何の平島先生に職員室に呼び出され、他の先生が見つめる中、大声で叱責されたことに腹を立てて、それまで得意であった英語もそこそこに100点を取って仕返しをするために幾何ばかり夢中で勉強、全国模擬試験も含め幾何だけはほぼ満点になって、先生に恩返しが出来たのは良かったのですが、それ以外の科目はさっぱりでした。

3年生も夏休みを前にして、担任になっていたその平島先生から「君は大学受験が近づいているが少しは勉強しているのかね」と、今度は親身になって心配されて「この夏休みが勝負」といわれ、親に頼んで西宮市名塩のお寺に夏休み中、一人閉じこもって猛勉強。その様にして受験勉強

に取り組みましたが、言ってみれば詰め込みの一夜漬けみたいなもので、興味を持って好きでやっている訳ではありませんから、到底国公立大学には及ばず、甲南大学の経営学部に入学することになりました。

大学にさえ入れば「こっちのもん」とばかり、4年間をどの様に楽しく過ごそうかと、わくわくしていた時、ある日突然「甲南大学漕艇部（ボート部）の福島です」とマネージャーが家庭訪問、ボート部への勧誘がありました。



何かスポーツクラブに入ろうと思っていたし、同じやるなら学生時代しか出来ないスポーツを選ぼうと思っていたこともあって入部。これがえらい目に遭いました。最初の合宿で、「ボートは腹筋、背筋がないと漕げない」といわれ、基礎体力作りと称して10kgのバーベルを後頭部に持ち「500回やろう」と言われた時は、最初何を言われたのかわからない状態でした。それこそ最初は1回も出来ませんでした。これが40日の合宿の間に出来るようになるのですが、笑っても痛い、咳をしても痛いという状態で、新入部員の大半が「こんなことをしていたら殺される」と言って、夜の門限までに着の身着のままで「トンズラ」（夜逃げ）した仲間が殆どでした。しかし10kgのバーベルを後頭部に持って、500回の腹筋が出来ようになりますと、バスト、ウエスト、ヒップが同じようなサイズになり、筋肉の塊のように逞しい体になります。

土曜・日曜もなく、毎日毎日厳しく辛くて、楽しさが分からないまま時間が過ぎてゆく。今日は辞めてやろう、明日は辞めようと心の片隅に違和





感を持ちながらも、今まで一つのことを最後までやり通したことが無かったので、本当に歯を食いしばって4年間頑張り通し、同期の仲間10数名いたのが漕ぎ屋で残ったのは、たった3人になっていました。



伊丹氏、大学現役時代のボート練習風景

その間、東京オリンピックが行われた埼玉県の戸田コースで毎年行われる「全日本選手権」に4年間出場し、学習院との定期戦や琵琶湖での「全関西選手権大会」、「朝日レガッタ」など各競技にもフル出場し、やっと4年の「刑期」が終わって、当然 先輩・監督から「よく4年間頑張った!!」と一言労いの言葉があると思っていたら、「お前らはアホやのう。4年間も騙され続けよって・・・」でしたが、その後の一言が全てを物語っていました。「4年間漕ぎ通して、良かったかどうかは社会人になったら分かる」と。確かに社会人になって、忙しくて何度も徹夜した時や、精神的に追いやられるような場面が数え切れないほどありましたが、どれも「ボートの厳しさからすればまだまだ・・・」というものでした。

ここで学生時代に知り合った知人・友人の中で、極めてユニークな人物を何人か紹介したいと思います。

1人目は、S君というボート部の1年後輩で、歳は2つ上ということは3年浪人して甲南大学に入ってきた男。彼は厳しい練習に耐えきれずボート部を2年足らずで退部しましたが、「パチンコの神様」と言われていた人で、凄い男がいるものだと感じたり呆れたりでした。

ボートの練習が終わった帰り道、居合わせた

3人で晩飯を食べに行こうということになったものの、それぞれ持ちあわせがなく合わせて1,200円程度の金をS君に預け、2時間位して見に行ったら玉が一杯入ったドル箱（木箱）を床に置き、その上に片足を乗せて2つ目の箱を横に置いている。

今は新御堂筋の建設により立ち退きになって無くなっていますが、忘れもしない「大都会」というパチンコ店で、この店はノーパンク（取り放題）でしたから、約束以上の3,500円程に増やしてきたのには驚きました。当時はセイコーの腕時計を質屋に持って行くと3,000円程借りることができ、3,000円あれば3人で洋酒喫茶（今で言う「スタンドバー」）へ呑みに行けた時代です。

ボート部も「アップ」と言って練習を休む年末年始の1週間、仲間は体力を落とさない為に報酬も良い沖仲仕や土方仕事のアルバイトをしたのですが、私は阪急岡町駅近くにあった餅屋でアルバイトをさせて貰いました。人が入れる程の大きな木樽の中に一杯入ったもち米を、公園のボートのオールのような形をした棒でかき混ぜながら洗うのが仕事です。アルバイトをしたのはこれが最初で最後でしたが、この仕事はかなりきつかったものの、体力維持にもなり時給も凄く良かったこともあって4日間やった思い出があります。

ところがこのS君は「俺はパチンコで稼ぐ」と宣言し、何と1週間で5万円稼いだと言うのです。当時の大卒の初任給は13,000円程度で、4年生の先輩が初任給を15,000円位くれる会社は無いかなあと言って失笑を買った時代。冗談だろうと思って聞いてみると、八百長をやらないとそこまでは稼げないと言う。どの様な八百長をしたのかと聞くと、当時のパチンコは左手に玉を握って、穴から1個ずつ入れて右手でレバーを弾いて打ち、釘の間のホールに入れるというもので、パチンコの台と台が背中合わせに並んでいて、その間に通路があり、その通路には下に溜まったアウト玉を台の上の皿に乗せるお姉ちゃんがいいた時代。そのお姉ちゃんと、外回りをする兄ちゃんと、客の自分の3人が組んで、入っていようが入っていまいが、ジャンジャン出てくる八百長だという。





勿論、バシたら大変なことになるのは承知の上。本当に度胸満点の男でした。

この男がどれ程度胸あるかという一例では、今でも新御堂筋沿いにあると思いますが、先程お話ししたパチンコ「大都会」の真向かいにあった「千成」というパチンコ店があり、当時1階はパチンコ店で2階は麻雀屋だった、その2階の麻雀屋へ後輩一人と連れだって、ブーマン（他人との賭け麻雀）で八百長をして稼ごうということになり、耳を触ったり、鼻をさすったり、目をこすったりしてサインを決めて予定通り調子良く勝ち進んだ。ところが暫く経って、一緒に打っていた兄ちゃんが「トイレにちょっと失礼」と立ち上がった。その兄ちゃんに「おかしい」と感づかれていることも知らずに……。その立ち上がった兄ちゃんが店の若い店員にそれとなく見張らせて、何食わぬ顔で席に戻って引き続き麻雀をしていたところ、サインを送って八百長をしていることが店員に見つかってしまったのです。「兄ちゃん、ちょっとこっちへ来てくれ」と店員に奥まったところに連れて行かれ、「われ、舐めたことをしてくれるやないけー」、「店の信用、どないしてくれるんや」……。ところがS君が「バシたらしゃーない。指でもつめてくれ」と手のひらを差し出して開き直ったが、相手は学生だということも見抜いていて、3倍の金と出入り禁止で頭を殴られて勘弁して貰ったというエピソードの持ち主。

また、私とこのS君の二人で、夕暮れの道頓堀の歩道を歩いていた際、正面から見るからにチンピラやくざと見受ける男4人が、横一線 歩道一杯になってこちらに歩いてくる。これはまずいと思ったら、S君が「真っ直ぐ歩くから離れずに付いて来るように」という。「但し、すれ違った後は絶対に後ろを振り返ったらあかん」というのです。恐々ついて行くと、目前まで横一線に並んで歩いてきたチンピラが2人づつ左右に分かれて我々2人の道をサッと空け、少し頭を下げて我々を同う様に見つめているのが横を通して感じた時には、多分顔色がなかったのではないかと思う程ゾーッとしたものですが、S君は「おう、ご苦労」と言わんばかりに堂々と通り過ぎす。何しろザンバラ髪に茶色のダブルの背広、当時ヤクザが履いていた先の尖った茶色の靴を履いて、一見ヤクザの若頭みたいな恰好をしているのですから。

麻雀、パチンコの神様みたいな人でしたが、その後「碁」を覚えて以来、これ程奥深くて面白いものは無いと、以降麻雀には見向きもせず、碁にのめり込んだのを覚えています。

麻雀の神様と言えば、もっと凄い人がいましたのでご紹介しますと、大学の経営学部 山本純一ゼミで一緒だったM君。この人はゼミの教室で会うことは滅多にありませんでしたが、朝から学校の正門で立っていて4人揃ったら麻雀屋に駆け込むという人。日立製作所の役員の息子で、クラブはゴルフ部でオフィシャルハンデは「4」。お父さんとお兄さんと自分のハンデを足しても「9」だと言っていましたから、大変な家族だと思っていましたが、「伊丹君、ボートみたいなしんどいスポーツをやらないで、道具をあげるから社会人になったら必ずやることになるゴルフをしろ」という。やりだしたら凝り性である自分の性格からゴルフはやばいと思い、この話は丁重にお断りしたのですが、この人がゼミ旅行で神戸港から客船に乗り、別府へ向かう船上で「オイチョ株」をやろうとトランプを取り出して仲間を呼びよせる。とにかく賭け事の大好きな男で、懐には世田谷の実家から仕送りされる「お金」の財布と、賭け事の資金が入っている「銭」の財布、左右のポケットに二つの財布があって、いつも「銭」が入っている財布の方が多いという男。そして、別府に着いた時には時間が遅かったこともあって、会食が終わる前からそれぞれに麻雀相手を確定させて、食事が終わったら殆どの者がそそくさと麻雀卓に向き合う。

私は小学校二年生のころから父親に麻雀を教えられ、家族でよくしていたものですから、やり方は知っているものの、勝ち方まで父親が教えてくれた訳ではないので、まあ下手の横好きという程度のものでした。小学校二年生と言えば終戦間もない昭和23年で、当時は勿論樹脂製の麻雀パイは無く、我が家にあった麻雀パイは中国製で、象牙を手彫りして竹にはめ込んだ少し薄くて軽いものでした。点棒も手彫りの象牙で5段の引き出しになっている箱は黒檀製。普通、親は子供に勉強を教えるものだと思いますが、麻雀好きな父親は家族全員に麻雀を教え、4人必要だから我が家は、ばあさんも姉も弟も全員ルールを知っているという大変な家族でありました。



宴会も終わり、最後に残った私に麻雀を誘ってきた友人が、もう一人足りないと言っているの、私が「M君がいるじゃないか」といったら「お前アホか、あんな奴 入れたら金がいくらあっても足らなくなるぞ」という。「しかし、麻雀なんてツキがあるから分からないだろう」と食い下がったが、頑として聞き入れない。横でM君がやりたそうな顔をして「ハンデをつけるから仲間に入れてくれ」という。てっきり点棒でハンデをつけるのかと思っていたら、「それでは面白くないだろうから、俺は丹前の懷で盲パイを打つ」と言い放った。

始める前に「イーソ」「チーピン」「パーピン」「キューピン」など、1枚ずつ丁寧に指でなぞって確認し「よし、このハイなら大丈夫だと思う」と言い切ったのですが、仲間の一人が「お前そんなことをして、もしロン（上がり）と言って盲パイ違ったら、チョンボで満貫支払うことになるぞ」と脅かしたつもりでしたが、当人は当然そのつもりだと言ってスタート。

始まってからずっと、右手を左の袂（たもと）の中に入れたまま絶えず杯をなぞって確かめている。しかし、進行が遅い訳でもなくニヤニヤ楽しそうにしていた記憶は鮮明であります。結果は半チャンを4回して、彼のチョンボは二回。結局この日のM君の最終成績は、二千点の勝ちで金にするとプラスゼロという結果に終わり、「ちょっと緊張したけれど面白かった」の一言。これは凄いやつだと思いましたね。終わった後、肩が凝って痛そうでしたが。

まあ、パチンコの神様「S君」といい、麻雀の神様「M君」といい、されどパチンコ、されど麻雀というところでしょうか。

次号【第三部】につづく)

#### 4. 関西支部行事のお知らせ

(関西支部長 阿賀 敏雄)

関西支部では、以下の行事を予定しております。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

##### ◆株式投資教室

講師：柏原 幾松（新生投資クラブ代表）  
毎月第3土曜日 11:00～13:30  
会場：ホテル・アイボリー 参加費：2700円

##### ◆ベルウッド歌声喫茶

10月31日(木)  
2020年2月5月8月の第3木曜日  
15:30～17:00 会場…ベルウッド  
司会：岸本隆司 演奏：ピアノ 荒木あゆみ、  
アコーディオン 比企野芳郎、ギター 植田元則、  
クラリネット 大澤泰 参加費：1000円

##### ◆ベルウッドCDの会

リーダー長岡壽男氏のご都合に合わせて開催  
会場…ベルウッド 参加費：1000円

##### ◆第6回講演会

「如何に人生100年時代を迎えるか」  
講師：川島康生先生  
(国立循環器病研究センター 名誉総長)  
11月21日(木) 14:30～16:00  
豊中市立文化芸術センター大ホール  
参加費：2000円

#### <キョウヨウ・キョウイク・エイヨウ・ ショウショウで健康ライフ>

関西支部長 阿賀 敏雄  
090-1896-4575

#### 5. 東京地区行事のお知らせ (事務局)

##### ◆東京地区 りらいぶゴルフ 2019秋

11月12日(火)  
大宮国際カントリークラブ

##### ◆東京地区 第7回りらいぶ落語会

2020年5月26日(火) 開催決定  
会場：お江戸日本橋亭  
出演：桂 三若、他 チケット：2000円

お問い合わせ：事務局・島村

080-9982-6237

メール：haruo\_shimamura@hotmail.com  
メール：menocasablanca@gmail.com



## 6. 全日本大会に出場しました

会員 鳥居 雄司



年に1回開催するエンデュランスの全日本大会に出場することにしました。この大会で選手権競技120km、一般競技80km、60kmが行われます。私は80kmにエントリーしました。80kmは3区間に分けられます。前の大会でかろうじて80kmを完走できたという状態なので不安は残りますが、将来は120kmそして最も長い160kmに挑戦できればと考えています。日本では160kmは年1回、120kmが年2回程度実施されています。

私はドバイの世界大会で完走した選手がオーナーをしている牧場で馬を借りています。エンデュランスの乗馬について具体的な指導を受け、試合の運び方や作戦を与えてくれる貴重な牧場です。これまでの大会は、私にエンデュランスという乗馬種目を紹介し、ここまで導いてくれた経験者と同じ距離に参加しています。しかし、全日本大会でその方は120kmに参加するので、私は80kmに単独で臨み、馬の様子を見ながら、時間を気にしながら、制限時間内にゴールすることになりました。

今回お借りできた馬はヴィヴィという名前の栗毛の日本スポーツホース種です。年齢は9歳の元気な雌馬です。この馬はサラブレッドと日本馬の混血で、大きさはサラブレッドより小さいけれど日本和種より大きい体をしています。非常に食欲旺盛で運動能力も高く全体のバランスとして

はお腹周りが太く、人間で言うとメタボリック体型ではないかと思えるような体つきをしています。

### 1 区間出発

80kmは午前5時出発です。夜が明けて明るくなってきた時間です。いつものことですが、大会の時に馬は日頃と違う雰囲気を感じ取り、明らかに興奮しています。一斉に出発し、先頭を争う集団に入っていると馬の興奮状態に巻き込まれて思わぬトラブルから落馬することがあります。これまでの大会の中で私は何度かそういうスタート場面を目にしてきました。牧場のオーナーから、出発時間後に先頭集団と十分離れてスタートするように言われました。また、出場する選手をメンバー表で確認して、スタート当初について行く選手のゼッケン番号を教えてください、安定した走行を目指しました。選手によって試合の組み立てはそれぞれ違っています。私の場合は順位よりも完走することが目的です。順位を優先する選手は初めから馬の運動能力を最大限に発揮させて、出発していきます。私の場合は、出発時の興奮に任せてどんどん先に行こうとする速さで80kmを走りきる自信はありません。私が制御できて制限時間を超えない速さを考えながら1区間を走ります。今回の80kmは30km、30kmそして20kmの三つの区間に分かれています。私は1区間の到着を出発2時間30分後の7時30分に計画しました。スタート時に教えてもらったゼッケン番号の選手を見失い、区間途中で表示される経過キロ数をたよりに予定を考えながら走りました。

長距離を走る時は何頭か固まることが多いです。馬の通る道は幅の広いところは多くなく、1～2m程度の幅も珍しくありません。そこで、自然に1列縦隊になります。先頭に立つ馬はペースを作ると同時に後に続く馬を引っ張るという役割になります。それに対して後に続く馬は前の馬について走るので負担は軽くなります。乗り手は先頭の馬に乗った時は走るペース、馬の様子、指示されたルートに合っているかなどを考えながら走らせます。後に続く馬の乗り手は走るペース、馬の様子そしてルートを確かめる程度で済むので負担が軽くなります。そこで、同じ牧場から馬を借りた選手と一緒に1区間を走りまし





た。互いの負担を軽くするために先頭で引っ張るのを交代しながら走りました。前はバランスが左に傾き、鞍に体重を左右均等でかけることができず、尻の右側に大きな負担がかかりました。今回はそれを気にしながら走り出したのですが、途中から鞍が尻に当たる痛みを感じるようになりました。2時間30分後に1区間を走り終えて獣医検査に臨みました。予定通りに走ることができました。獣医検査の結果は腸音がB評価になった以外、競技前のA評価を維持していました。腸音がB評価ということは馬の代謝の状態が少し悪くなってきていることを示しています。代謝を保つためには十分な水分を馬に与えることが大切です。水分不足を放置すると血流が悪くなり、馬の運動能力が低下します。エンデュランスでは区間の途中に数箇所の水場ウォーターポイントを設置しています。ですから、水場に来たら馬を休ませると同時に水分補給をさせます。ところが、これまで競技開始後の最初の区間で馬はなかなか水を飲みません。今回も水場ごとに馬を桶に連れて行きますが飲むことはなく周りの草を食べていました。草から水分も補給できるので良しとしました。心拍数も毎分64拍を下回る毎分52拍でした。馬の場合、心臓の鼓動は聴診器を左前足の付け根辺りに当てて数えます。毎分の心拍数ですが、実際は15秒間の心拍数を数えて4倍して毎分の心拍数にします。ですから毎分52拍だったということは、15秒間で13拍だったということになります。この心拍の鼓動ですが、馬によってなかなか聞き取りにくく聴診器をあてる場所をあちこちと動かして耳を澄まして数えています。

## 2区間

獣医検査を受けて40分後が2区間のスタート時刻になります。8時10分これが2区間の出発時刻になりました。先頭集団の馬はすでに出発した後ですから、1区間で同行した馬と一緒に走りま

した。1区間ですでに尻の右側が擦れて痛いので鞍の真ん中に座るよう意識しながら、また、体が左に傾かないよう気をつけながら、同行の選手と先頭を交代しながら2区間を走りました。

2区間の予定も2時間30分でしたが、実際には3時間4分かかり、34分多くかかりました。

到着して馬に水をやり、体に水をかけて熱を冷まし、心拍数を確認してわずか2分後に獣医検査に臨めました。非常に強い健康な馬だと思います。検査の結果は先ほどと全く同じで、腸音のB以外は全てA評価でした。

80kmは5時出発だったので朝は軽く食べただけでした。最後の3区間が11時54分出発なのでそれまでの間で弁当を食べて休みました。

## 3区間

最後の区間は20kmです。予定では2時間で走るつもりでしたが、実際は2時間22分かかりました。この区間も二人で代わる代わる先頭を交代してコースを走りました。途中でゆっくりした歩みになりましたが、制限時間を超えることなく到着できる見通しが立ったので無理をせずゴールすることを優先しました。エンデュランス競技は与えられた時間内でゴールに到着し、獣医検査で馬がさらに次の区間を走れる健康状態であることを確認して完走になります。完走すると、実績として評価され、さらに長い距離や資格認定の根拠資料になります。また、上位入賞した中で、馬の状態が良い人にベストコンディション(BC)賞が与えられます。ベストコンディション賞を受けることは私の目標の一つになっています。

ところで私は左右のバランスが悪いので、上体が左へ傾き、鞍の左側に座ることが癖です。なんとかこれは直そうと考えています。エンデュランスをやらなければこの傾きは意識することもなく、気がつくこともなくそのままだったと思っています。

80km 競技

J: 吉田 / V: 中島

順位	選手名	馬名	馬齢	性別	品種	所属	第1区間	第2区間	第3区間	トータル	
1	阿部 睦也	ひまわりちゃん	6	牝	日本乗系種	北海道エンデュランス協会	1:59:57	2:05:21	1:21:47	5:27:05	BC賞
2	中山 泉美	ドクター	12	セン	半血種	(公社)神奈川県馬術協会	2:00:07	2:05:13	1:21:56	5:27:16	
3	平井 美夏	錦之介	10	セン	日本乗系種	北海道エンデュランス協会	2:22:26	2:26:30	1:46:01	6:34:57	
4	高橋 智子	第一梵天丸	21	セン	半血種	石狩ホーストレック	2:08:07	2:27:07	1:59:48	6:35:02	
5	鳥居 雄司	ヴィヴィ	9	牝	日本スポーツホース種	北海道エンデュランス協会	2:30:10	3:04:37	2:22:16	7:57:03	

参加13頭 完走6頭 完走率46%



## 7. MK午後の会

元 立命館大学大学院教授  
日本交渉学会 理事

麻殖生 健治



**MK午後の会 講演後の集合写真**  
**前列右から3人目の方が、麻殖生 健治 先生**

私の研究の専門分野は、「交渉学」である。30数年前に「日本交渉学会」を立ち上げた時は、交渉なんて学問じゃない、テクニックでしょと、よく言われた。しかし、日本ビジネスが国際化して異文化との交渉が増え、現代では、政治的にも、日韓交渉や、トランプ大統領の交渉が大きな話題となっている。研究者も二百人を超えたといわれている。

このNPO法人リタイアメント情報センターでは、一般の方の交渉に対する興味を深めるため、数年前から、歴史上の人物を取り上げて、本人の経験した交渉についてのトピックを提供している。

私の名前の頭文字をとって、MK午後の会である。

数年前から、兼好法師、足利義満、千利休、井原西鶴、ペリー提督など、様々な人を取り上げている。最近では、10月2日に、良寛を話題にして、20人余りの方にご参加いただいた。

良寛は托鉢僧であるが、同時に詩人であり、書家でもある。又、それ以上に人間味あふれた言動

で、人々に感動を与えている。子供達と楽しく遊び、故郷出雲崎の「良寛牛乳」のCMは「良寛様のように生きましょ」というのだそうだ。

ところが、不思議なことに、良寛が交渉をしたというエピソードが少ない。幅広い交友関係があって、問題が起こることが、多かったと思うが、交流はあるが、交渉はないと言われている。それでは、交渉については、横を向いていたのかというと、実はそうではない。

「戒語」といって、人と対話する時にやってはいけないことを100語ほどまとめている。これは、例えば、「知らぬことを知っているように言うな」とか、「たやすく約束するな」とか「他人の話は最後まで聞け」という否定的な「いましめのことば」である。

反対に、積極的に交渉をすすめるための「愛語」というのも残っている。世間に交わる時は、嫌な人にでも、いつくしみを持って、心のこもった対応をすることを、説いている。これを実践していた良寛は、簡単に解決できないような交渉は、一生なかったのかもしれない。



**長岡市隆泉寺の良寛像**



## 8. 謎の女性（女性にナンパされた話）

チャーチル京都 幹事長  
木津谷 文吾



左側に立られている方が、木津谷 文吾 氏

謎の女性の話をいたしましょう。

30年ほど前、私がかっこよくてカッコよかった頃の話です。

1985年、電電公社が独占していた通信事業が自由化され、誰でも参入できるようになりました。電電公社は民営化されてNTTになり、それと競争する会社が、商社、電力会社、電鉄、通信機器メーカー、などを母体として、雨後の筍のごとく次々と出現したのです。そしてこれらの会社が激しい競争を展開する通信事業の戦国時代の幕開けとなりました。

当時、私はその新しい通信会社の一つのOMP（現在のオプテージ《2019・4・1にケイ・オプティコムから社名変更》の前身）を立ち上げるべく、関電から出向を命じられました。全く経験のない通信業界に出向するわけですが、48歳で部長職に昇進して意気軒昂、心身ともに充実し、バイタリティーに溢れていました。新会社のOMPは20名ほどでスタートし、企画、営業、設備、人事、などすべてをゼロから形づくっていかねばなりません。OMPは、大阪市、関電、大ガス、住商、三井物産、三菱商事、NEC、富士通、などからの出向者の混成部隊です。ここで

は、既成の会社では味わうことができない仕事や人間関係という貴重な経験することができ、やる気満々でした。

そんなある日、帰社途中のことです。私は御堂筋を梅田に向かって家路を急いでいました。堂島川にかかる大江橋を北に向かって渡り、北新地の東側付近を足早に歩いていた時のことです。赤いスーツの女性が突然近づいてきて、「あのう・・・あのう・・・ちょっと、すみません・・・」と言うのです。足を止めて「どうしたんですか？」と尋ねると、「あのう・・・、実は、私、一人なんです」。「えっ?」。そして言いにくそうに、「それで、食事でも一緒にしていただけないかと思ひまして・・・」と恥じらいながら言うのです。これはえらいことになった。女性からナンパされるとは。見れば、中肉中背、理知的な美人で、30歳半ばでしょうか。私は「いや・・・今日は急ぐので・・・」と断ってその場を去りましたが、何となく、わるいことをしたかな、女性から声をかけるなど勇気がいることだし、食事ぐらいつき合ってもよかったかな、ひょっとしたら何処かのキャリアウーマンかもしれないし、新会社の営業レディにスカウトするに相應しい人材だったかもしれない、千載一遇の縁を逃したかな、など複雑な気持ちでした。翌日、社内でこの話をすると、「そんなもん、コールガールに決まってるやないか」というにべもない声もあり、そう言われるとそうかもしれないと思ってみたりして、その後、同じルートを歩いてみても二度とそのような機会には会うことはありませんでした。

それから一か月ほど経った日、同じルートを歩いていると、突然、女性が近づいてきて、「あのう・・・あのう・・・ちょっと、すみません・・・」と言うのです。あっつ、来た来た、今度は上手くやるぞ、と身構えて、見れば、若い女性で25歳前後でしょうか。「どうしました?」と尋ねると、「大阪銀行へは、どう行けばいいのでしょうか?」と、単に道を尋ねられただけでした。

その後、同じルートを歩いても、謎の女性は現れることなく、謎のままです。

昔の、くだらない話で失礼いたしました。





## 9. 中国の旅の思い出

ヤスコ Wild  
NPO 法人関西シャンソン協会理事長  
会員 杉山 泰子



もう3年も前の事になります。

私は日中交流の旅のメンバーに加えていただいて大連、旅順を旅していました。最後の日の朝食時にメンバーのお一人、中山さんから伺ったお話です。

太平洋戦争中に、日本の女性と中国の男性が恋に落ちました。けれど、運命は二人を引き裂き、それから70年も月日が流れました。

ある日、中山さんはビジネス関係でその中国人男性と知り合い「日本の女性でこの人を探してほしい」と依頼されました。

苦労の末、彼女を探し当てた中山さんは、お二人のご希望を受け入れ、北京でお二人の合う場所を設定されました。中国人男性はご結婚なさっていて、日本人女性はずっと独身を通されたそうです。その時、一体どんな時間が流れたのでしょうか。その後、その女性は一人で日本に帰ってこられたそうです。

戦争がもたらした苦悩の数々、お二人の心に生き続けた純粋な愛に私は思わず涙しました。その女性は今、きっと静かに過ごしているのでしょうね。

そして彼女の気持ちを思いこんな詩を書きました。



### 北京の夕映え

あれから何年経ったでしょうか  
あなたが私を探してくれて  
私は再びここに来た  
国と国との諍いが  
若い二人を引き裂いて 虚ろな時を過ごさせた

あなたに逢うのをためらった  
こんなに長い時のあと  
箱の中に閉じ込めた  
苦しく切ない胸の内  
滴り落ちる血のような 赤い涙で封をした  
けれどやっぱり逢いたくて

そして命の黄昏時に  
再び巡りあう時が  
私も年を重ねたけれど 心は別れたときのまま  
こうして再び会うなんて 夢にも思っていなかった

異国の土地での ふとした出会い  
瞬く間に燃え上がり  
別れた後も断ち切れなくて  
最後に一目会うことで 私の想いは満たされた  
ああ、この広い草原に 燃えて沈む太陽よ  
生涯一度の私の恋



## 10. 関西支部 行事関連写真 & 行事チラシ



6月11日～16日 豊中市立市民ギャラリーにて開催したリタイアメント作品展でのスナップ写真

### 『如何に人生100年時代を迎えるか』 講師 川島康生(かわしまやすなる)先生

国立循環器病研究センター名誉総長

大阪大学名誉教授

日本医師会医学賞

熱二等旭日重光賞

大阪文化賞

文化功労者顕彰



日時 2019年11月21日(木)

会場 豊中市立文化芸術センター 大ホール

豊中市曾根東町3-7-2 tel 06-6864-3901

開場 14:00 開演 14:30 終了 16:00



チケット(2,000円)のお求めは

ベルウッド 06-6840-0606

国際交流の会とよなか 06-6840-1014

阿賀 敏雄 090-1896-4575

越智 克司 090-6053-0029

廣瀬 純 090-3723-0961

主催 NPO法人リタイアメント情報センター

理事長 竹川忠徳 顧問 中野寛成 関西支部長 阿賀敏雄

後援 豊陵会

design kenichi.ishio

左は、開催が近づいて参りました  
11月21日(木)

豊中市立文化芸術センター大ホールでの  
川島康生先生 講演会

「如何に人生100年時代を迎えるか」  
ご案内チラシです。

皆様お誘い合わせの上、是非講演へ  
ご参加をお願い申し上げます。

### 11. 事務局からのお知らせ

この10月21日(月)より  
日頃からお世話になっているヴィップ  
システム様の事務所移転に伴い  
R&I東京本部の場所が変わります。  
新しい場所は、以下の通りでございます。

なお事務局へのご連絡等は、  
以下の事務局 TEL または  
事務局 E-mail へご連絡の程何卒よろしく  
お願い申し上げます。

発行：特定非営利活動法人 リタイアメント情報センター (R&I)

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 18 階 ヴィップシステム(株) 内

●TEL 03-5860-9483 FAX 03-5860-9477

●事務局 TEL 080-9982-6237

●事務局 E-mail: haruo\_shimamura@hotmail.com HP: <http://retire-info.org/>

(発行責任者) 事務局 島村 晴雄